

探究通信

2024 (第1号)
富山県立高岡高等学校

2024年5月発行
編集 企画研究部

令和6年度が始まりました。1年探究科学科の皆さん、探究科学科へようこそ！「探究する力と心」を磨いていきましょう！今号では、3月、4月に探究科学科の生徒が参加した活動の様子について紹介します。今後も様々な活動や発表の機会があると思います。アンテナを高く張り、積極的に参加しましょう！

1年探究科学科が科学探訪へ

令和6年3月13日(水)～15日(金)、1年探究科学科77人が、科学探訪に行ってきました。昨年に引き続き、東京方面で実施することができました。国立オリンピック青少年記念センターに宿泊しての実施は、2019年3月以来5年ぶりでした。日程は以下の通りです。

- 1日目(3/13)：東京大学訪問(本校卒業生による講義、キャンパスツアー)、卒業生との懇談会
- 2日目(3/14)：東京都内各施設 班別研修、班別報告会(クラス別)
- 3日目(3/15)：つくばサイエンスツアー
 - ・午前；(1班)サイエンススクエアつくば、地質標本館(2班)食と農の科学館、筑波実験植物園
 - ・午後；日本宇宙航空機構(JAXA)筑波センター

以下に、1日目の卒業生との懇談会と2日目の班別研修について、生徒の声を紹介します。

【卒業生との懇談会】参加して下さった現役東大生・院生から伺ったアドバイスを紹介します。

【高校時代について】

- ・1、2年生の間に色々なことを試して、自分に合ったスタイルを見つけ、それを継続できるようにする。
- ・自分の好きなことに没頭することで、自分の将来の目標などが見えやすくなる。高校卒業、大学入学がゴールではない。
- ・まずは周りに目標を宣言する。自ずと努力しなければならない状況にする。言い訳ができないような状況を作る工夫をする。



【大学生活について】

- ・高校時代に希望していた分野とは違うことを専攻している。自分の知らない分野についても積極的に学んでみるといい。

【班別研修 -首都圏内各施設にて-】班別研修を終えての生徒の感想を紹介します。

「自分に正直になる」(東京都美術館学芸員の方)

自分の進路に悩んだ時、本当に自分のやりたいことは何かを考えて向き合い、やりたいことを実現させるための選択をしたから後悔はない、とおっしゃっていたことが強く印象に残っている。



「興味を一步超えた疑問」(東京大学医科学研究所システムウイルス分野研究室の方)

新しい情報や気になることを発見した時、そのまま納得したり理解したりするのではなく、どうしてそのように言うことができるのか、もとななる事実はあるのかと疑問を持つようにしていきたい。

「やりきったという経験をもつ」(日立システムズの社員の方)

自分自身の成長につながり自信をもつことができるようになる。体育大会や文化祭などの学校行事に「やりきった」と思えるように取り組んでいきたいと思った。

*その他の主な訪問先…講談社、Microsoft、マクアケ、東京証券取引所、外務省、環境省など

外部大会で探究活動の成果を発表

★「京都大学ポスターセッション2023」に参加 ～同大百周年時計台記念館にて～

令和6年3月16日(土)「京都大学ポスターセッション2023」に課題研究国語2班(2年人文社会科学科)が参加しました。「音象徴で『温・照・重』～言語音と印象の結びつきをみる～」という題目で、言語音と温度・明るさ・重さの印象との結びつきに関する研究の成果を発表してきました。大会には課題研究に熱心に取り組んでいる高校の代表生徒が全国各地から集まっており、大学・高校の教員も加わって専門性の高い議論が交わされました。



【生徒の感想】

- ・地域性を生かした研究や何年もかけて実験を行ってきた研究、大学や企業と連携した研究など、興味深い研究が多く、全国の高校生のレベルの高さを実感した。
- ・質疑応答を通して新たな視点からのアドバイスをもらうことができた。説得力のある発表の仕方やポスターの作り方を学べ、自分たちの研究のさらなる可能性についても考えが深まった。
- ・課題設定からつまづき、良い結果で終わる未来が想像できなかったが、みんなで悩んで、考えて、意見を出し合い、最終的に全国規模の大会で発表をすることができて、達成感に満ちている。

★「ミライシコウ金沢(高校生探究成果発表会・高校生国際会議)」に参加



令和6年3月16日(土)金沢大学で第2回ミライシコウ金沢が開催されました。「プログラムA 高校生探究成果発表会」と「プログラムB 高校生国際会議 Youth and Climate Action Conference」の2つのプログラムが準備され、本校からはプログラムAに2年普通科課題研究能作班が2班、人文社会科学科から英語班、理数科学科から化学班、地学班の計5班が、プログラムBに1年普通科から3名の生徒が参加しました。

探究成果発表会では各発表の後に質疑応答が活発に行われ、金沢大学の先生方を中心とした助言者の方々からアドバイスやコメントをいただきました。県外の学校も多く参加しており、たくさんコメントペーパーをもらって、とても刺激に溢れた発表会でした。高校生国際会議では、英語での講義やディスカッションを通して、他校の生徒と意見を交換する貴重な体験ができました。

【生徒の感想】

- ・石川や仙台、京都といった広い範囲から集まった人たちと意見を交換することで、自らの視野を広げられた。
- ・研究テーマに対する熱意を持った人たちばかりで、その人たちの研究はレベルが違った。
- ・どの学校の発表もしっかりと下調べや実際にトライしていて行動力があつた。

東大金曜講座(2024 夏学期)がスタート

令和6年4月19日(金)から、東京大学教養学部主催の「高校生と大学生のための金曜特別講座」2024年度夏学期が開講されました。

4月26日(金)には、東京大学文学部の高木和子教授による講座「源氏物語の作者を知っていますか」を本校視聴覚室で視聴。会場には探究科学科1、2年生および本校教職員、合わせて約20名が集まり、『源氏物語』の成立に関する含蓄に富んだ講義を受講しました。



【生徒の感想】

- ・源氏物語は紫式部の独創的な発想から生まれたものではなく、さまざまな物語から影響を受けてきたものだというのを知り、今まで苦手意識の強かった古典に興味を持つことができた。
- ・古文はただ単語や文法を覚えて訳すだけのものではなく、深く読めば面白いものだと思えた。